

# 昭和学報

昭和女子大学  
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂  
03(3401)5118  
編集発行人 山崎洋史

## 緑色

副学長 金尾 朗

幼稚園の頃、運動靴を買ってもらえることになり、母と一緒に近くの竹中靴店に行きました。そこで一つの靴が目に入りました。真っ赤な運動靴です。靴の上にはジャングル大帝のライヤの絵がありました。その赤い色に私は抗しがたい魅力を感じました。母は私をさんざん説得したのですが、あまりにも譲らないので結局買ってしまいました。すごく嬉しくて、買ってからもずっと眺めていました。そして次の日に幼稚園に意気揚々と履いていったのです。が・・・そこは子供の世界です、お友達のみならず、一杯、さんざん、ご指摘をうけ、顔も真っ赤であったと・・・そして二度とその靴を履くことはありませんでした。その後も赤色は私にとっては非常に魅力のある色でした。大学に入って絵描きのまねごとをしていた頃は、様々な種類の赤系の絵具を集めてきて、どのような順番で重ねてどう削れば、独特の赤が

できるなど聞きかじって試していました。青系や黄系の顔料も画材屋さんでよく眺めていました。茶系の顔料は外国の土が良いと言うので外国の絵具を買ってみたいという気持ちで日本画向けの絵具セットを購入することになりました。そこでちよつとしたジョックを受けました。特に驚いたのは緑系の色の名前です。「黄草」「青葉」「緑青」「鶯緑」「濃緑」「白緑」「若葉」の七種類もありました。使ってみるとそれぞれ微妙で繊細な味わいがあり



七つの緑

今月の昭和学報は  
地域連携センターが発足……………(2)  
平成二六年前期クラブ・サークル活動報告……………(3)  
世田谷美術館×服飾デザインマネジメントコース  
「ジャポニスム×ファッション」ファッションショーを開催……………(4)

ます。そして、それぞれの色が、青葉や鶯や若葉、緑青などの私の個人的な経験と直結して感じられたことです。これが驚きでした。

表現したい色を手持ちの絵具を重ねて作り出すというのが私の方法論でした。現在のRGBの考え方にならなかつたかもしれませんが、しかしこのとき色そのものを、意味や経験、感情そのものとして感じられることに初めて気がつきました。緑色がもっている様々な広がりや可能性、緑色に込められた様々な人の思いが見えてきました。

そうなると、いろいろな使われ方に興味がいきます。日本だけでなく西欧などの他の文化圏でも緑色は非常に多様な用い方がされており、また他の色との合わせ方方も多様です。ワインブルドンでは、私の苦手としていた濃い緑色を、また、使いにくい濃い紫色とあわせています。伝統と格式かも知れません。様々な衣装でも緑色をうまく使っています。ようやく緑色を感じる事ができるようになりました。

その後、絵を描く機会が少なくなり、これらの

### 平成二五年度就職率 四年連続女子大でトップ

平成二五年度(平成二六年三月卒)の本学の学部就職率(卒業生数から大学院進学者を除く)は91.2%で、昨年の90.2%を1ポイント上回り、卒業生が1000人以上の女子大では四年連続でトップとなった。共学校を含めた全国順位でも二位で、文系中心の大学ではトップの実績を示した。

この調査は例年、大学通信が六月末時点で実施し、七月中旬発行の「サウンダー毎日」に掲載される(今年七月二七日号)。

四年連続トップは自身の努力に加え、全学を挙げて就職支援に取り組み、達成した。各学科のキャリア支援部委員の先生とキャリア支援センターの職員が連携し、四年生の夏休みの終わりから、内定、内々定が出ていない学生一人ひとりと連絡を取り、個別面談を通して求人紹介や履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接などを繰り返した。

今年度は夏休み前から上記の体制を取る一方、四年生向けの学内合同企業説明会を九月から来年二月にかけて毎月開催するほか、学校とりまとめ・学校推薦求人情報を随時更新して提供している。また、三年生向け就職活動支援講座も一〇月八日の第二回就職ガイダンスから再開する。

(キャリア支援センター)長 磯野彰彦

### 第二期生に歴文大倉未沙都さんが採用

私は「官民協働海外留学支援制度」トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラムとして、一〇月から一年間留学する。このプログラムは、文部科学省と民間企業の協力のもと、意欲と能力のある日本の若者が自ら一步を踏み出すことを目指した奨学金制度である。

私は、二〇二〇年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにむけて、日本の伝統芸能を観光産業の目玉にしたいという目標をもっている。そのため今回の留学では、イギリス、アメリカ、東南アジア各国を訪れ、現地の芸術団体でインターンを実施する。この制度で留学する仲間と切磋琢磨し、実りのある留学にしたい。第二期生の募集もはじまっている。ぜひ皆さんも挑戦してほしい。

(歴文) 大倉未沙都

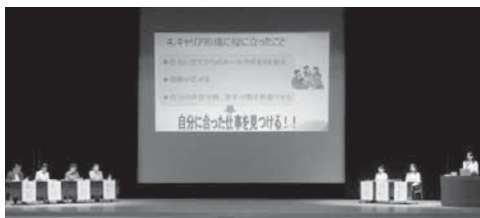


社行会で、下村文部科学大臣や孫正義氏はじめ三三三名の仲間と共に

官民協働海外留学創出プロジェクト  
トビタテ!留学JAPAN  
氏(左)と大倉未沙都さん

### 学生アルバイト・ピアセミナーを開催

「学生アルバイト・ピアセミナー」が七月三〇日一講時実践論理においてグリーンホール及び創立者記念講堂で開催された。アルバイト経験は、単



にお金を稼ぐだけでは無く、多くの社会的体験を与えてくれる。しかし、アルバイト体験で得られる良い知見・悪い知見を、先輩から大学で学ぶ機会が少ない。先輩から学ぶピアラーニングの環境として、昭和女子大学初めの試みとして、学生部・学生支援センターのコーディネートによりピアセミナーが企画された。

今回は、東京デイズニーシー(テーマパークでのアルバイト) 日文四年小池加称さん、セブンイレブン(三年間のアルバイト経験から学んだこと) 初教三年山口千尋さん、マクドナルド(接客業・マネージャー)

今回は、東京デイズニーシー(テーマパークでのアルバイト) 日文四年小池加称さん、セブンイレブン(三年間のアルバイト経験から学んだこと) 初教三年山口千尋さん、マクドナルド(接客業・マネージャー)

### 先生の研究室訪問 自ら考え、実行する

国際学科教授 佐藤 喜之先生



佐藤喜之先生は、中国語をはじめ、中国現代史や音声学など幅広い分野を教える国際学科の先生だ。学生との距離が近く、学生は親しみをもって先生と接している。

主な研究は一三世紀の中国語で、先生曰く、これにはモンゴル語の影響を受けた「変な」中国語なのだとか。先生が研究を始めたのは三〇年前のことだ。当時、国内はほとんど、中国でも、研究者はほとんどいなかったそうだ。先生は大学で中国語を学んでおり、院の先生の「モンゴル語を学んだ君は、研究者が少くない一三世紀の中国語研究をやってみてはどうか」という勧めもあり、挑戦しようと考えたのだとか。

### SWU Summer International Program 2014



六月二日から三週間「SWU Summer International Program (SSIP)」が行われ、九カ国一八名の留学生が協定校から参加した。このプログラムは全て英語で行われ、今年度二回目となる。今回、各学科の授業に参加するスケジュールを組んだことで、約二〇〇名の本学学生がSSIPに参加し、留学生と関わる機会を得た。また、昭和ボストンへの留学経験を持つ一三名の学生が、多文化協働プロジェクトに取り組みする「Cross-cultural Workshop」を留学生とともに履修した。

このように、留学以外でも学内で実現できる異文化交流と英語活用機会がある。今後も多くの学生に活かしてほしい。(国際交流センター)

### 地域連携センターが発足

地域連携センターは、大学と地域との連携の窓口である。世田谷区との包括協定に基づく協働事業では、世田谷区産業振興公社と、出前公開講座「地域の外国人とのコミュニケーション」のため「日本語・日本文学の協力を実施予定、世田谷トラストまちづくりと、世田谷区「民家園」で留学生を中心としたイベント「世界のくらしと子ども遊び(仮)」も計画中である。第二回目を開催中のエッセイコンテストもプロジェクトの一つ、優勝者のボストン派遣の基金づくりで、学生がサクラインポートコンサートや「ユニケーション」のために「日本語・日本文学の協力を実施予定、世田谷トラストまちづくりと、世田谷区「民家園」で留学生を中心としたイベント「世界のくらしと子ども遊び(仮)」も計画中

である。第二回目を開催中のエッセイコンテストもプロジェクトの一つ、優勝者のボストン派遣の基金づくりで、学生がサクラインポートコンサートや「ユニケーション」のために「日本語・日本文学の協力を実施予定、世田谷トラストまちづくりと、世田谷区「民家園」で留学生を中心としたイベント「世界のくらしと子ども遊び(仮)」も計画中

### 朝小サマースクールに昭和女子大学に参加して

初等教育学科では、子どもたちが自分たちで作って楽しめるようにと『スライムづくり』と『プラ板でキーホルダーづくり』の二つを企画した。

スライムのブースでは、一日当たり約五百人分の材料を用意してイベント

に臨んだにもかかわらず、初日は開始後三時間半でその日の在庫が終了という大盛況ぶりであった。しかし、それ以降に來た子どもたちは断然なればならず、とても心苦しい思いもした。そのため二日目には整理券を配る対策をとり、また整理券を持つていない子どもたちも参加できるように自由参加の時間も設け、多くの子どもが参加できるようにした。

プラ板のブースも、一日目から長蛇の列がでるほどの大人気であった。プラ板がみるみる



うちに小さくなっていく様子を、子どもたちが楽しそうに見ていたのが印象的であった。二日目には、少しでも回転をよくするため、机やイスの数を増やし、一度により多くの子どもたちが参加できるように改善した。完成したキーホルダーをリュックにつけて嬉しそうに帰る姿が、微笑ましく、子どもたちの夏休みができたように感じた。

両日とも休み暇もなく大変であったが、子どもたちの驚く顔や楽しげな表情をみて、このボランティアは非常に意義のあるものだと感じた。

(初教 小泉玲奈 栗田 純)

### 歴史 小野寺ゼミ 三大学共同ゼミがスタート

この共同ゼミは、共立総勢四〇人程度から構成された。六月上旬に共立女子大学における顔合わせで各大学のプレゼンなどを行い、正式に始動した。秋の合宿(東大)をテーマとしたプレゼン&ディベート)と、冬のクリスマス講演会、春の卒論準備報告会などを予定している。大学の垣根を越えて刺激を与え合い、学問的な交流を行っていく場として共同ゼミを発展させていきたい。活動の詳細については、この学報でも随時お伝えしていく予定である。



(歴史 専任講師 小野寺拓也)

### 平成二六年度 学寮研修報告

日本語日本文学科  
5/27(30)

五月二七日から四日間、日本語日本文学科二年生は、東明学林で学寮研修を行った。雨模様で不安定な天候であったが、計画した全てのプログラムを実施することができた。また、一日目にこの時期には珍しい富士山の絶景を見ることができ、あちらこちらでシャッターを切る姿が見られた。



今回の研修のメインは、キャリア支援講座と講師を招いて行われた話し方講座である。キャリア支援講座では、キャリア支援センター職員と、就職の決まった四年生五名が各自の視点から就活を語り、将来について考える良いきっかけとなった。二日目には、みかん畑の落ち葉掃除の労作と、話し方講座が行われた。落ち葉掃除もみかんの育成にとっては重要な作業で、暑い中熱心に取り組みの様子が見られた。一ヶ月の収穫後、ソフィアで配られるのを楽しみに待ちたい。話し方講座では、メラビアンの方則など、今まで知らなかった知識を得たり、実際に「自分の人生の転換期」というテーマで一人二分のスピーチコンテストを行った。優勝者が選ばれると共に一人ひとり改善点を発見することができた。二年生の学寮研修は一年生とは違った楽しさがあり、成長を実感できた。仲間と過ごす楽しさ、集団行動についてもまた違う学びがあった。

英語コミュニケーション学科  
6/16(19)



英語コミュニケーション学科はEnglish Activityというイベントを学寮で毎年行っている。ゼミごとに英語によるプレゼンテーションや演劇を行い、最も優れたチームを選ぶ。

今回一、二年生は日本について、三年生はボストン留学について発表し、一カ月ほどの期間を駆け、各チーム優勝を目指して準備してきた。このイベントの目的は、ボストン留学を控えた二年生にとっては日本についての知識を共有し身に付けることであり、留学から帰ってきた三年生にとっては、先輩に留学の様子や成果を紹介することである。今回優勝した三年生チームは、留学中に訪れたカナダやNYなどへの小旅行について発表した。それぞれの発表は極めて工夫を凝らしたもので、笑いあり、涙ありで会場から歓声がわ

深津菜恵

### 平成二六年前期 クラブ・サークル活動報告

Dezain系学生団体 Pipeyzは第二回下北沢音楽祭の広告フラッグの製作と、「フラッグのプロジェクト」を行った。



地域の方とのつながりを感じる有意義なプロジェクトとなった。今後Pipeyzでは、Dezainを通じて様々なチャレンジをしていく予定である。(部長 出史奈)

合気道部 新歓フェスタ  
(4/9)、新人戦出場  
演武競技の部 平山・高久  
組三位入賞(4/27)、乱  
取稽古会参加(月一回)、  
JAA伊勢原講習会参加  
(5/11)、審判講習会参  
加(6/8)、関東学生合  
気道競技春季大会 演武  
競技の部対徒手 酒井・  
西村組二位入賞(6/15)、  
部内昇級前審査(一  
級・初段(6/28)、JAA  
A夏期講習会参加(7/6)、  
留学生プログラム  
(7/9)、昇段昇級審査  
沢田・高久・平山一級・  
城所・西村初段合格(7/13)、  
部内昇級審査(三級(8/2)、  
少年大会スタッフ参加(8/3)、  
合宿(8/22~25)

ソングリーディング部  
Sadies 前期週三日  
練習(夏休み週五日、後  
期週四日予定)、新歓  
フェスタ(4/9)、新体  
育館新歓ダンスショー  
(4/14・17)、玉川台区  
民センターまつり(6/8)、  
Clear Dance Festival  
ESPRIAL(8/2)、ABE DANCE  
PRODUCTION Dance Festival  
(10)、USA school&league  
competition(6/24)

ダンス部 AUBE  
(部長 井部真友佳)  
新歓フェスタ(4/9)、  
新歓パフォーマンス(4/15・16)、  
DANCEOLIVE 4/20、  
春パーティー(6/7)、  
A U B E公演  
[Colort]説明会(7/16)  
イラストラーション部  
(部長 遠藤奈津子)  
外部イベント用ポスター  
応募・入賞

ウインド・アンサンブル  
(部長 山口美佳)  
新歓フェスタ(4/9)、  
新入生歓迎コンサート  
(4/16)、  
光葉同窓会でアンサンブル披露(4/19)、  
東京都大学文化祭で  
ジョイントコンサート(6/7)、  
9月合宿  
演劇部 週二日 八月定  
期・秋桜祭公演の練習及  
び話し合い、  
新歓フェスタ(4/9)、  
八月公演  
(部長 広田萌美)  
軽音楽部 新歓ピクニック  
(4/16)、  
新歓ライブ(5/10)、  
春コン開催(6/24)、  
私コン開催(6/29)、  
夏コン開催(8/18)  
(部長 木田久美子)  
Sing Song Society  
入学式歌唱係参加、  
新歓

文芸部 月曜昼休みに部  
室で部会、部誌「ひまわり」  
のテーマは「手紙」とし  
執筆・批評、秋桜祭準備  
(部長 一條いずみ)  
民俗学研究会 週二回活  
動、秋桜祭準備・民俗学  
に関する勉強会、不定期  
に地域年中行事や民俗芸  
能見学  
(部長 渡邊美優)  
昭和女子大学クリケット  
クラブ 学生選手権で勝  
利(7/12)、  
夏季休暇中にも  
同大会に出場し優勝を  
目指す、小林悦子さん  
は、日本代表選手として

海外チームとの試合に出  
場し、勝利に貢献(4月)、  
学生選手権(8月)、  
チャンピオンズウィケット  
(9/13)  
(部長 川辺彩子)  
Enoie まち道楽参加  
(4/27)、  
子育てファミリア  
リーフェスタ参加(6/22)、  
イベント参加(7月)、  
定期公演(7/16)  
(部長 今野彩香)  
彩食健美\*Club  
週一日活動、  
新宿区中井商工会  
HP用に、  
考案したレシピを提供  
(部長 松本美寿穂)  
写真同好会  
毎週水曜部室でミーテ  
ィング、  
希望者参加の撮影会を  
不定期開催(上野5/2・  
学内等6/27)  
(部長 田畑万奈)

### 世田谷美術館×服飾デザインマネジメントコース 「ジャポニスム×ファッション」 ファッショントレンドショーを開催

七月六日、「ポストン美術館 華麗なるジャポニスム展」とのコラボレーションイベントとしてファッションショーを行った。ジャポニスムをテーマに、素材やデザイン、時代、文化など様々な切り口から、四年生が四つのシーンに分かれて表現した。二回公演のどちらも満席となり、学外の多くの方にショーを見ていただくことができた。



秋桜祭で行うショーよりも約四カ月前から衣装作りから、音響やヘアメイク、初めての会場でのウオーキング構成など、考えなければならぬことはたくさんあった。これらを授業や就職活動などと並行して進めなければならず、追い込まれた時もあったが、それぞれが昨年の経験を活かしてやり遂げたことで、最後には大きな達成感を得ることができた。

今回のショーを通して、学生が作り上げるショーといっても、多くの方々との協力があることを実感した。この感謝を忘れず、秋桜祭では三年生とともにさらに良いものをお見せできるような準備していきたい。

(環境 東方萌香)

### 中高部で ティーチングアシスタント活動実施

皆さんは、「SGH(スーパーグローバルハイスクール)」という言葉を知っていますか。国際的に活躍できるグローバルリーダーを高校段階から育成することを目的とした活動です。



文部科学省の推進事業の一つで、今年度、本学附属昭和高等学校が指定校として選ばれた。その一環として、サードインターンシップが導入され、大学から四名のサポーターが派遣されている。



健・医療など六グループに分かれ、テーマ発表に始まり、実践的な活動を一年間行う。私たちはボランティアや大学で学んだ経験を活かし、生徒の視点で共に考え、アドバイスをします。活動後には高校の先生方と意見交換をさせていただいたり、サポーター同士で情報交換をしたり、話し合によってよりよい活動となるよう努めている。生徒から学ぶことも多く、熱心に取り組む姿に胸を打たれた。「まずは行動してみる！」という私達のエールが伝わってうれし。

(日文 矢田真菜  
心理 飯塚理加子  
福祉 高山莉早・野澤智燧)

### 大学コンベンションアム京都に参加

私は八月二五日から二九日の五日間、京都大学が開講した「食卓の栽培学」に、単位互換制度で参加した。グループ作業が多く、他大学の学生と交流しながら楽しく作業をすることができた。英語コミュニケーション学科に所属し、日ごろは口にする身近な食材がど



こうしてなくてはならない身近なものに注目することも大切だと感じた。皆さんも、新しいことに挑戦し、一味違った夏休みにしてみてはいかがだろうか。  
(英コミ 菅谷 葵)

### 海外考古学実習に参加して

二月に参加したベトナムでの「東南アジア歴史演習」に続き、この夏、海外考古学実習に参加した。同実習では、歴史学、化学科の菊池誠一教授と院生・学部生一〇名が一泊二日間にわたってベトナムのハノイ、ホイアン、



ホイチミンで実習を行った。世界遺産タンロン皇城やミーソン遺跡の他、複数の博物館を見学。ホイアンでは一週間、発掘した陶磁器等の整理に取り組んだ。資料からは当時の経済状況や日本との関わりを知ることができ、貴重な体験となった。また実習の一環として、台湾大学や以前から親交を結ぶハノイ国家大学の学生との交流もあり、世界と繋がる楽しさを感じた。今回より深く、ベトナムの良さを知ることができ、さらに興味があふらんだ。  
(歴史 高梨澄麗)

### 行事予定

- 10月 1日(水) 後期授業開始、図書館ツアー(～10/10)
- 10月 3日(金) 図書館長期貸出最終返却日、先哲の慰霊祭(10:40)
- 10月 4日(土) 第5回オープンキャンパス (13:00)
- 10月 5日(日) 大学A0入学試験一次選考
- 10月 6日(月) 図書館「情報検索ガイダンス(～11/28)・ゼミガイダンス(～12/12)」
- 10月 7日(火) 修士論文題目提出締切
- 10月 8日(水) 【文研】ピアノリサイタル「コルネリア・ヘルマン」(18:15)  
第2回就職ガイダンス(15:30)・第3回学生会クラス学生総会(15:30)  
【特研】福祉 武野興司氏  
「医療観察法処遇終了者の地域支援をめぐる課題(仮)」(4限)  
大学A0入学試験二次選考
- 10月12日(日) 合同避難訓練(11:45)
- 10月15日(水) 【女教】山崎亮氏「コミュニティデザイン(仮)」(15:30)  
【特研】ビジネス 上原征彦氏「専門的職業人とは何か」(4限)
- 10月16日(木) 月曜代替日  
【文研】ディズニー・オン・クラシック～まほうの夜の音楽会2014「Life Love Light」(18:15)
- 10月18日(土) 第31回メンターカフェ「金融業(銀行・生保・損保)で働く!」(13:30)
- 10月21日(火) 【文研】オルフェイ・ドレンガー～スウェーデン王立合唱団～(18:15)
- 10月22日(水) 【女教】海原純子氏  
「ジェンダーという視点から見た女性の心と体」(新入生必須)(15:30)  
【特研】英コミ・ビジネス Rochelle Kopp氏  
「日本人と英米人のコミュニケーションスタイル(仮)」(3限)
- 10月23日(木) 【文研】劇団四季ミュージカル  
「ジーザス・クライスト＝スーパースター」(18:15)
- 10月24日(金) 第40回メンターフェア(11:45)
- 10月25日(土) 【博士後期課程3月修了見込み者】課程博士学位請求論文提出期間(～10/31 16:00)  
【特研】初教 西本鶏介氏「童話・絵本の魅力」(3限)
- 10月29日(水) 【女教】小池龍之介氏「自分濃度」を薄めて美しく。(15:30)
- 10月31日(金) 早期修了申請提出締切  
学内合同企業説明会(平成27年3月卒業予定者対象)

第22回 **秋桜祭**  
笑顔  
11月8・9日10:00～16:00  
トークショー  
AAA 與真司郎  
コンサート  
flumpool

第22回 **秋桜祭**  
笑顔  
2014年11月  
8日(土)・9日(日)  
10:00～16:00  
昭和女子大学

★今年度のポスターは、投票の結果、環境 深澤若那さんの作品に決定!